

会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 5 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

会 派 名 真志会

高島市議会議員 1 2 番 磯部 亜希

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が 2 以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号 1 の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に 1 となりますので、記入は不要です。

初問は { ① 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1) 発 言 事 項	マキノ小学校建設に関する市長が示した方針転換と 市長の今までの進め方に問題はなかったのか
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	令和 6 年 9 月の高島市小中学校再編基本方針が高島市教育委員会定例会で可決された後、開校準備協議会で議論がなされてきました。議会においては、マキノ小学校の令和 10 年 4 月新設予定に向けて、基本設計、実施設計の予算が本年 3 月の当初予算の中で上程され、可決しています。 ところが約 5 カ月が経っても未だに基本設計、実施設計の発注が行われず、7 月 2 8 日の全員協議会と 7 月 2 9 日の開校準備協議会で次のような今城市長の考えが示されました。 1. 新設と改修の事業費について比較した結果、大きく変わらないと確認され、計画通りマキノ中学校に隣接する形で新設する。 2. 当初予算で議決されている基本設計・実施設計 1 億円を一旦無くし、新たに債務負担行為として上程し直したい。

3. 新小学校建設には市内（地元）産木材を活用したい。

4. 発注方法について一般競争入札ではなく、プロポーザルで行うことを提案したい。

そしてその後の8月18日の全員協議会では、債務負担行為を含む補正予算案が示され、マキノ小学校の新校舎供用開始が、計画である令和10年4月に間に合わない説明がありました。しかし、その内容はこの段階では開校準備協議会への説明がなされていなかったことから、順序を正して行うべきという議会からの意見により、開校準備協議会と保護者の方への説明会を行うということになりました。全員協議会で示された補正予算案が再考され、協議会や保護者の皆様へ説明し、そこでのご意見を受けた後に、再び債務負担行為の予算が上程される予定となる事態が起きました。いったん上程される予定となっていた予算が取り下げられること自体、あってはならないことです。

これらの市長のご発言からはじまる一連の動きから、マキノ小学校の進め方に大きな混乱が生じています。

私たち真志会では、マキノ地域で新しい小学校を新設される方針が示された当初から、マキノ地域でこのような大型の公共施設建設は貴重な機会だから、子どもたちが希望や、誇りをもてるような校舎にしてほしいという想いを変わらずに持ち続けております。そのために先進地へ視察にも行き、教育委員会とも協議を重ねてきました。さらに教育委員会や開校準備協議会から聞かれた子どもファーストで、子どもたちや保護者の方々の思いを大切にしたいと私たちも考えています。新校舎の建設が数年遅れてでもいいから、市内産木材を使って、山の整備や市内の経済にも好影響を与えながら、素晴らしい校舎を建ててほしいと、子どもたちや保護者の方をはじめ、みなさんが望まれ合意を得られるのであれば、実現されるのは良いと思います。しかし、市長の発言からは、議員が質問するたびにお答えが変わり、教育委員会との意思疎通もできていないことが見えてきて、市長のこの事業に対する姿勢に不信感を抱きました。例えば地元産木材を使って、という考えが、いつの間にか県内産木材でも良い、国内産なら良い、と変わっていったり、いったん示されたプロポーザルについても次の全員協議会ではプロポーザルでなくても良いと変更され

たりしました。地元産木材を使って、全国に誇れるようなものを建てたい、と言われてましたが、残念ながらこの時点では、調達方法やコスト面、現在の市の財政状況にどのような影響を与えうるのかの十分な説明、また誰もが納得するようなスケジュール調整、何より子どもたちや保護者の方々、関係者のみなさまのご賛同等、何一つ準備されていませんでした。行き当たりばったりの印象しかありませんでした。自分の責任においてやりとげるから、なんとか理解してほしいという覚悟も残念ながら感じることはできませんでした。このような状況から、今後のマキノ小学校建設の進め方についてかなりの不安を感じております。以上を踏まえ、以下の点について市長に伺います。

1. 3月の当初予算の可決後、当然、基本設計、実施設計を行えるよう粛々と進められてきているはずが、行われていませんでした。行われていなかったという説明も私たちは一切受けてきませんでした。全員協議会で判明し、今まで何をされていたのかを聞かれても、市長からは、予算可決後に精査していた、請願があったから十分な検討が必要だった、というお答えでした。市長が新校舎を建てるという意思をお持ちであるからこそ、当初予算にあがってきたのだと思っていました。しかしこのお答えから、市長は新校舎建設の意思がなかったのではないかと推測されます。なぜなら、精査は予算上程までに行っておくべきことだからです。さらに、請願については拘束力がありません。「マキノ地域の3小学校統合と新小学校開校」は一旦立ち止まり、住民の意思を尊重することを求める請願が6月議会に出ていましたが、市長自身が新校舎建設という方針をお持ちであるなら、請願が出たとしても計画を進めることはできます。この請願の内容にあった新校舎建設と旧校舎改修の費用比較については、もうすでに昨年の段階で概算比較が行われており、市が負担する額はそれほど変わらない結果は出ていました。だからこそ、新校舎建設の選択がなされているのです。ましてや、この請願は議会において不採択となっております。この議会の意思さえ軽視されています。しかも、請願が出される前にすでに事業が止められており、請願が不採択になった後も動きがなかったのです。市長は就任されてから混構造で建てた

いと発言されるまでの間、マキノ小学校の新校舎建設は考えていなかったのではないでしようか。

2. 予算として上程されるには、それ相当の準備を整えておく必要があります。3月の当初予算で計上されるにあたり、基本構想や基本計画がなければ基本設計、実施設計の発注に支障が出ると思われます。準備が遅れていたとしても、本来6月頃には発注ができるように基本計画が整えられているべきです。しかし、8月時点の全員協議会で、市長からは基本計画というものはかなりの時間をかけないとできないものであり、まだ時間がかかるという答弁が繰り返されました。それに対して教育委員会によると、すぐに用意できるということでした。さらに、スケジュールの提示もなく、案があるのであれば提示して説明すべきではないか、と質問してもなかなか出てこない状況でした。これはどういうことですか。教育委員会との意思疎通もできていないようです。何事においても遅すぎませんか。後手後手で、協議会や保護者への説明会も、言われたらする、という印象を受けました。議会から言われなければ、新校舎建設は遅れます、債務負担行為で予算を上程し直させてください、と議会にだけ説明して、関係者のみなさまにお伝えすることなく予算をあげて進めようとされていたのではないのですか。

市長の3月における所信表明では、情報公開の徹底やクリーンで信頼できる、市民に向けた市政の実現とありましたが、このような進め方は反しているのではないでしようか。

そして、市長が公約で地元産木材を公共施設に活用と言ってこられ、マキノ小学校を建設しようと考えておられたのであれば、市長就任直後にマキノ小学校建設には地元産木材を使うようにすぐにでも指示を出されるはずですが、なぜ出されていなかったのですか。

3. 当初予算可決後から約4か月経つまで、これといった合理的な理由もなく事業を止めておいて、木造を取り入れたい、新校舎建設は遅れます、と急に発言されましたが、この計画の遅れについてどのように責任をとられるのですか。

公共施設にもいろいろと種類がありますが、小学校の建設においては、行政の都合だけではなく、子どもたち、その保護者、地域の方、今回では開校準備協議会の方、さらには教職員の先生方も含め、多くの関係者の方々がこれまで、令和10年4月開校に向けて動いて来てくださっています。その方々に大きな影響を与える計画変更です。子どもたちにおいては特に重大です。教育現場では子どもたちに向けて、新しい小学校ができるにあたり、教育環境の整備など、様々な準備が進められてきているのです。謝罪するだけで済む問題なのでしょうか。

4. 今までの教育委員会の進め方を見ていますと、開校準備協議会に敬意を表し、そこでの意見を尊重されてきました。これは去年の12月議会で私が一般質問を行った答弁からもうかがえます。保護者の方々、区長・自治会長や住民自治協議会をはじめとした地元のみなさま、学校関係者の方々への説明もされてきました。そもそもこの統廃合課題は、マキノ地域において、複式学級にすることなく、子どもたちにより良い教育環境を提供するために、統廃合を早くしてほしいという地元からの要望が以前からあったからです。私たち地元議員も再三にわたってこの要望を届けてまいりました。だからこそ教育委員会で、3つの小学校の現校舎の改修と新校舎建設の費用比較検討をし、新校舎を建設するとした上で、少しでも早く統廃合できるように、様々な検討を重ねて開校時期が示されたのです。事業の進め方において、市長の独断で方針転換がされるのであれば、それ相当の覚悟と準備が必要です。それすらなしに、急に意見され、計画変更にまで至ることになりかねない今回のような進め方は、混乱をきたすようなことになり、あってはならないことです。このようなことを繰り返されてはならないと強く思いますが、市長はどうお考えでしょうか。